

# #27(2024年度第4回) CN専門委員会

2025.3.11

(一社)日本自動車車体工業会 事務局

内容		時間		
1.2024年度 CN事業実績 【報告】	・取組み重点確認	2分	9:36-9:38	
	・事業実績まとめ	全体	8分	9:38-9:46
		環境委員会	10分	9:46-9:56
		広報委員会	6分	9:56-10:02
		バン部会	8分	10:02-10:10
2.2025年度 CN事業計画【審議】		15分	10:10-10:25	
3.まとめ		5分	10:25-10:30	

# 1. 2024年度CN 事業実績【報告】

## <2024年度CN活動 取組み重点>

- ・ 2050年の全会員CN実現に向け、**裾野拡大と活動強化**を図る

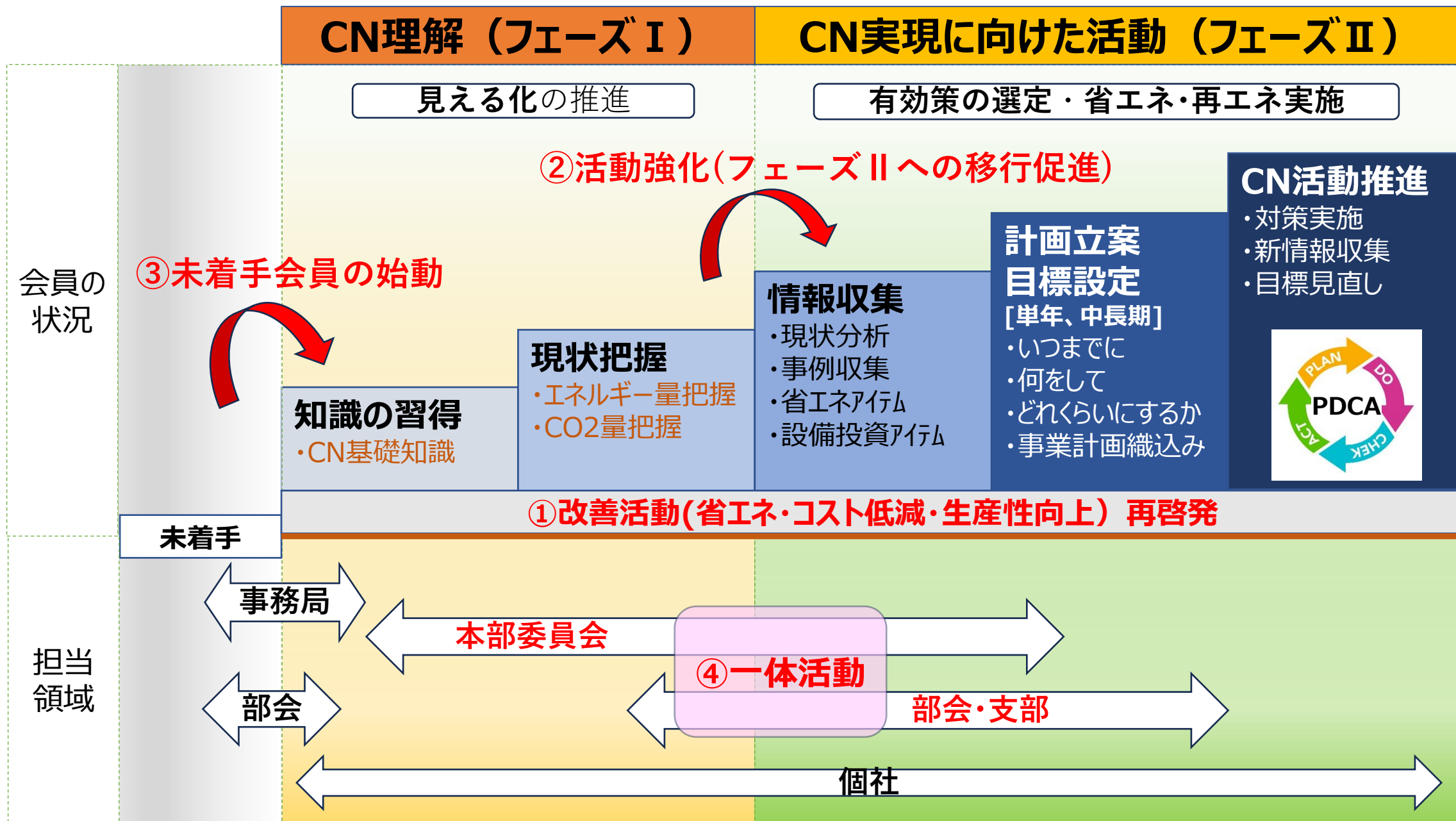
① **改善活動**（省エネ・コスト低減・生産性向上等）の**再啓発**

② CN実現に向けた**活動強化**（フェーズⅡへの移行促進）

③ **未着手会員の始動**

④ 本部委員会と**部会**（特装・特種・トラック・バン）・**支部**との**一体活動**

⑤ LCAは、先行会員参加によるWGの推進等進め方を検討



# 2024年度CN 事業実績まとめ

# <2024年度CN 事業実績まとめ>

カテゴリ	実施事項	担当	KPI	2024年度実績		課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CN理解促進の<b>仕掛け先導</b></li> <li>・各委員会・部会・支部の活動内容確認と<b>情報共有</b></li> </ul>	CN		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会・部会・支部のCN活動を把握し、好事例を横展</li> </ul>	○	<b>フェーズIIへの移行</b>
他団体連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車<b>5団体</b></li> <li>・経団連モビリティ委員会、CJPT等</li> </ul>	CN	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部工会・自工会情報交換 年2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部工会3回(7月,11月,2月)、自工会1回(4月)</li> </ul>	○	KPIの見直し
現状把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>アンケート調査、困りごとへの対応</b></li> <li>・<b>未着手会員への対応</b></li> </ul>	中央業務 部会 支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート回収率100% (含:辞退)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート実施方法再検討、<b>HP周知強化と中央業務委の困りごと吸上げに変更</b></li> <li>・<b>特装部会</b>：WGで未着手会員へのフォロー実施、</li> <li>・<b>バン部会</b>：勉強会3回済 ⇒ <b>目標設定と活用方法を共有</b></li> </ul>	○ ○~ △	見直し内容展開 <b>部会の特徴を踏まえた活動</b>
理解活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>事例収集</b> マニュアル展開 部会(支部)での共有</li> <li>・<b>CNページ閲覧頻度向上施策</b> <b>事例展開</b></li> <li>・<b>勉強会</b></li> </ul>	環境 広報 CN	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好事例PKG展開1件</li> <li>・事例紹介3件</li> <li>・1件以上 ・動画作成・展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例のHP掲載:<b>「儲かる,すぐできる,誰でもできるCN」</b>第2弾作成に着手</li> <li>・CNページ<b>閲覧頻度向上施策</b> (含:環境対応事例発表会プレゼン) 事例紹介3件：広報委員でのチーム活動</li> <li>・省エネルギーセンター講演@環境対応事例発表会 部工会主催 <b>外部講師によるCFPセミナーへ参加</b></li> </ul>	○ ○ ○	— — <b>より有効な勉強会</b>
計画支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>CO2排出量調査</b> <b>排出量増減分析</b></li> <li>・Scope3</li> <li>・商用車電動化対応</li> </ul>	環境 中央技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1%削減(委託生産2%)</li> <li>・売上高カバー率95%以上</li> <li>・対象39社分析</li> <li>・LCA学びの場づくり 1件以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量 23年度実績対前年 <b>▲0.7%</b></li> <li>・売上高カバー率99.6% (前年同様)</li> <li>・39社<b>分析</b>：電力係数▲2.1万ト、省エネ改善▲1.9、生産台数・売上高+3.7</li> <li>・(株)カヤバの活動事例の学び</li> </ul>	△ ○ ○	<b>CO2排出量▲1%の実現</b> — 学びの場の創出
実行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとの確認と<b>現地支援</b> -部会(支部)との<b>一体活動</b></li> </ul>	環境 部会 支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援4件以上</li> <li>・部会一体活動4件以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援 <b>4社へ訪問</b> (オールーフ、岩崎工業、本所自動車工業、札幌ボデー)</li> <li>・一体活動 <b>部会3件、支部1件(北海道)</b></li> </ul>	○ ○	—

# 環境委員会

# 4. 車工会のCO2排出量実績と目標

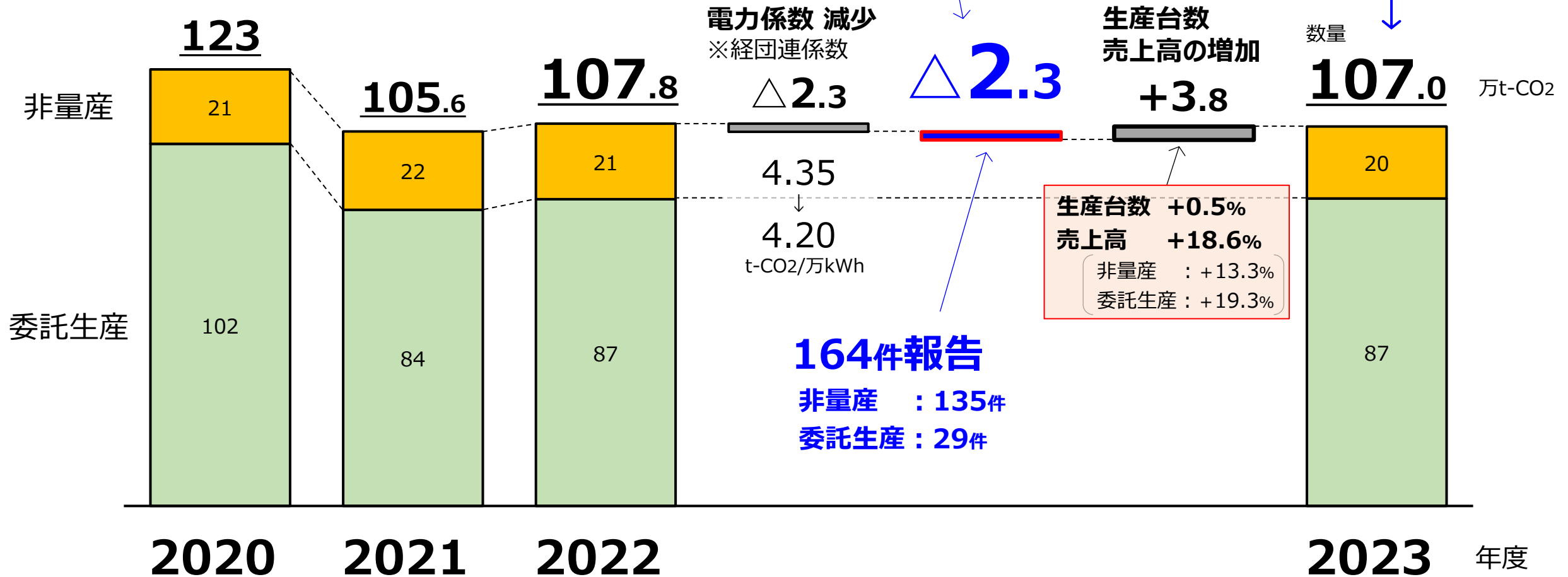
※CO2排出量 = Scope1,2

(1/17 理事会資料)

**【車工会全体 164社】** 正144社、準20社

全体回答率 70.1% (前年 75.3%)

売上カバー率 99.6% (前年 99.6%)

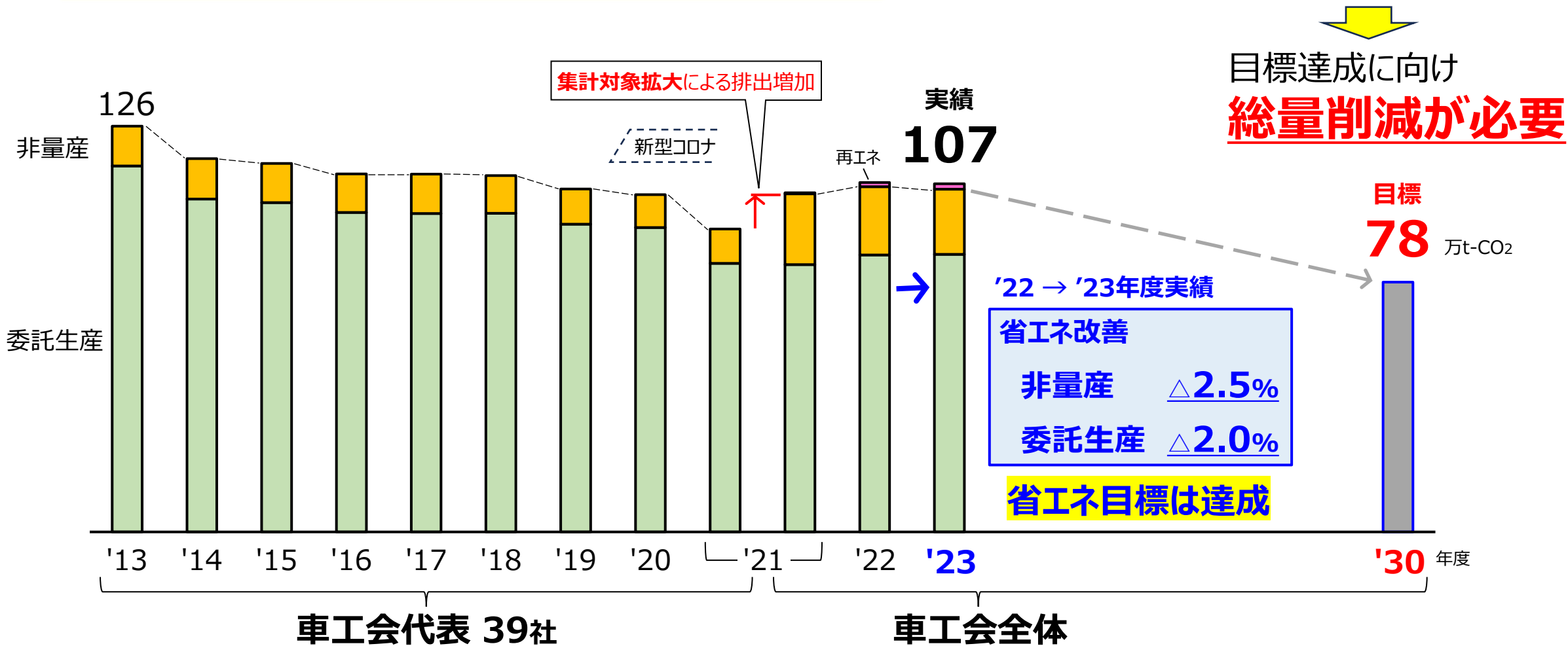


## CO2排出量の目標※ **2030年度までに78万t-CO2**（'13年度比△38%）

※ '22/12設定

'21-'30年度の省エネは、非量産△1%、委託生産△2%

結果：省エネ改善で削減も台数・売上で増加



# 2030年度に向けて 年度目標を設定

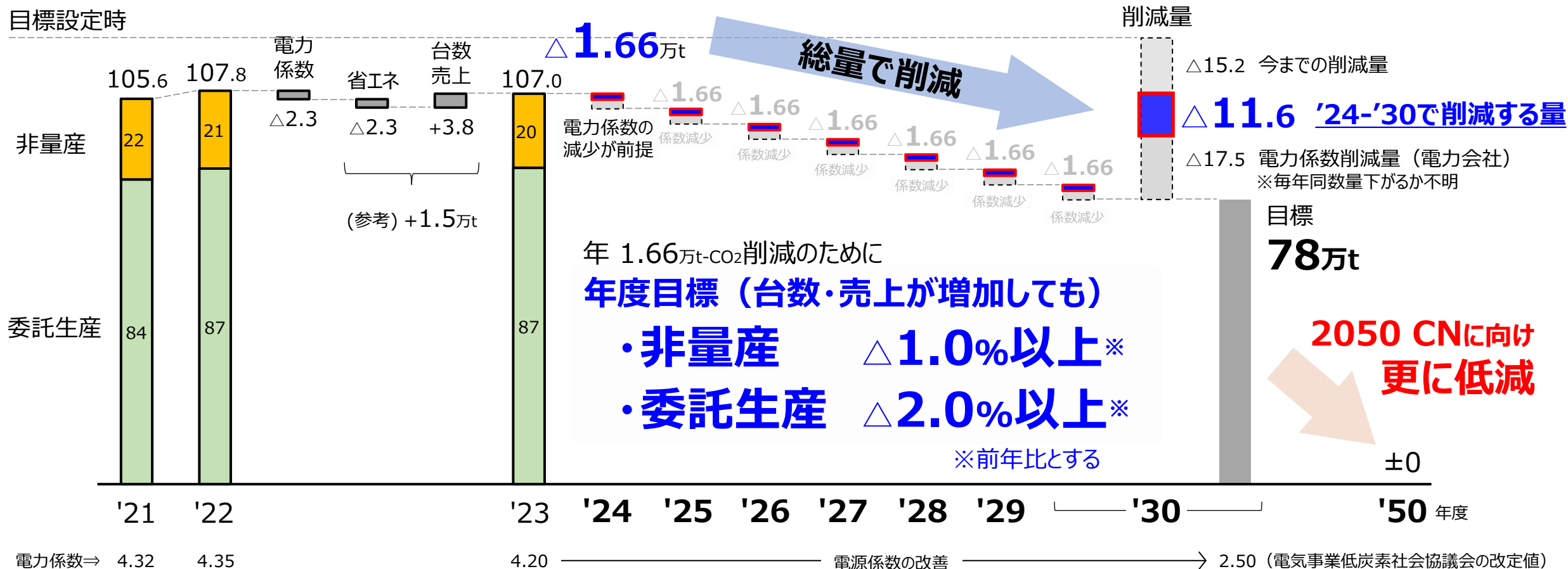
CO2排出量を **年 1.66万t-CO2削減が必要**

**台数・売上が増加しても、総量で排出量を下げる必要がある！**

→ **改善の継続に加え、新たな省エネ・再エネ導入が必要**

## 取り組み（毎年）

- ・年度ごとの削減目標と実績を比較し、達成状況を確認、分析、開示
- ・削減が不足などにより、年度目標を見直し
- ・好事例の収集、情報展開、横展効果 他
- ・会員との意見交換や支援等の継続



# 広報委員会

# 【CNページ閲覧頻度向上、わかりやすい事例展開】

項目	課題	2024年度の対応	進捗状況	閲覧状況推移
HP閲覧件数	CNページを追加したものの表示回数、ユーザー数が伸びていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に触れる頻度向上               <ol style="list-style-type: none"> <li>①トップページバナー追加</li> <li>②事務局員配信メール署名欄にCNページの案内追加</li> <li>③環境対応事例発表会でCNページ紹介</li> <li>④追加、変更時メールおよび「新着情報」によるアナウンス</li> </ol> </li> <li>・内容の充実 わかりやすいCN対応事例の追加・展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に触れる頻度向上               <ol style="list-style-type: none"> <li>①8/29より<b>実施済</b></li> <li>②5月より事務局員<b>実施済</b></li> <li>③10/18<b>実施済</b> (発表者：河野ボデー製作所 河野様)</li> <li>④【事例集】儲かる すぐできる 誰でもできるCN_No1追加時アナウンス<b>実施済</b> (8/20)</li> </ol> </li> <li>・わかりやすい事例<b>3件の展開事例作成</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のCNページ閲覧数が<b>昨年比196人/月</b>←182人/月と8%増加</li> <li>①～④の方策で一定の効果ありと判断</li> <li>・わかりやすい事例展開3件作成済。3月HP公開予定</li> </ul>

エアークブラーの省エネ対策

事例提供会社：東邦車輛株式会社  
問い合わせ先：生産技術部  
0276-99-1012(直通)

事務所における待機電力低減活動

事例提供会社：トヨタ自動車東日本㈱  
問い合わせ先：PE・環境部 環境G 山田  
080-5815-2180

焼却炉稼働の低減による灯油削減活動

事例提供会社：(株)矢野特殊自動車  
問い合わせ先：品質保証部 柴田様  
092-963-2000

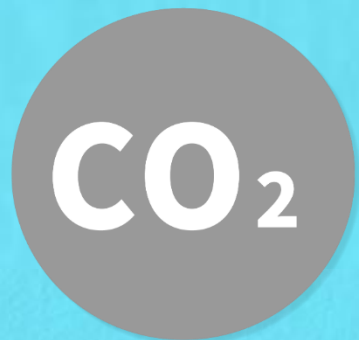
# バン部会：手引書抜粋



一般社団法人 **日本自動車車体工業会**  
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

**バン部会 業務委員会**

# CO<sub>2</sub>排出量削減目標設定の手引書



**CORBON  
NEUTRAL**

Two horizontal green bars are positioned below the text.



# CO<sub>2</sub>排出量の算出方法

[SETP2フローへ戻る](#)

## CO<sub>2</sub>排出量簡易算出表へ数値を入力

【簡易版】エネルギー使用量入力表

会社名		2024年度版		4月	①	3月	合計 (自動計算)	CO <sub>2</sub> 計算用 単位修正	
電力	所在エリア選択 (毎月選ぶ) → 東京エリア	排出係数 (自動表示) ⇒	0.000376	0.000376	0.000376	6,000.0	0.6	万	kWh
燃料	購入電力量	kWh	500.0	500.0	500.0	1,200.0	1.2	kL	
	ガソリン	L	100.0	100.0	100.0	350.0	0.4	kL	
	灯油	L	50.0	50.0	50.0	2,400.0	2.4	kL	
	軽油	L	200.0	200.0	200.0	300.0	0.3	kL	
	A重油	L	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	FALSE	
	LPG (プロパンガス)	単位 選択				6,000.0	6.0	km <sup>3</sup>	
	都市ガス	m <sup>3</sup>	500.0	500.0	500.0				
CO <sub>2</sub> 排出量 (月間)		t-CO <sub>2</sub>	2	2	2				

【簡易版】CO<sub>2</sub>排出量

会社名		2024年度版	
CO <sub>2</sub> 排出量実績 (年間)			
電力	購入電力量	2.3	t-CO <sub>2</sub> /年
燃料	ガソリン	2.7	t-CO <sub>2</sub> /年
	灯油	0.9	t-CO <sub>2</sub> /年
	軽油	6.3	t-CO <sub>2</sub> /年
	A重油	0.8	t-CO <sub>2</sub> /年
	LPG (プロパンガス)	0.0	t-CO <sub>2</sub> /年
	都市ガス	12.3	t-CO <sub>2</sub> /年
CO <sub>2</sub> 排出量 合計		25.3	t-CO <sub>2</sub> /年
スギに換算すると 年間		2,874	本の吸収量と同じ

条件：36～40年生のスギ1本当たり約8.8kg/年のCO<sub>2</sub>を吸収 (出典：林野庁ホームページ)

手始めに直近1年分のデータを入力し、  
年間の使用エネルギーと排出量を把握する。

- ① 購入している電力エリアを選択
- ② 請求書記載の使用エネルギー毎に記入
- ③ エネルギー総量のCO<sub>2</sub>排出量を自動換算
- ④ 使用量に応じたCO<sub>2</sub>排出量を自動換算

月・年単位でのCO<sub>2</sub>排出量を算出

次ページ：月別に各エネルギー使用量が見える化

[エネルギー使用量の各項目に入力する数値についての説明リンク](#)

注記  
 ・この表は自社のCO<sub>2</sub>排出量を簡易的に把握するためのものです  
 ・毎月のエネルギー使用量を入力すると、年間のCO<sub>2</sub>排出量が自動算出されます (表の右側)  
 ・事業所の所在している地域(エリア)は、排出係数シートの日本地図を参考にしてください  
 ・色付きのセル  にエネルギー使用量を記入ください  
 ・排出係数は毎年8月頃に更新されます

# 1.電気使用量の記入方法

「電気」の項目へこの数値を入力

「所在エリア」の項目はここに記入してある電力会社を選択

毎度ご利用いただきありがとうございます

電気ご使用量のお知らせ 山田 太郎 様

ご使用場所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇XX番XX号

XX年XX月分 ご使用期間 XX月XX日~XX月XX日

ご使用量 **345 kwh**

契約種別 従量電灯B  
契約 40A

請求予定金額 X,XXX  
(うち消費税等相当額)

当分指し数  
前分指し数  
計器乗率(倍)  
取替前計量値  
計器番号(下3桁)

基本料金  
電1 1段料金  
電1 2段料金  
電1 3段料金  
燃料費調整  
再エネ発電賦課金等  
電化厨房住宅割引  
口座振替割引

〇〇電力株式会社

お問い合わせは、下記の電話番号まで  
-おかけ間違いにお気をつけください。-

〇〇電力株式会社

電気料金等領収証(口座振替専用)

XX年XX月分 ご使用期間 XX月XX日~XX月XX日

領収金額 X,XXX

うち消費税等相当額

ご契約 40A  
ご使用量 321 kwh

山田 太郎 様

上記金額をXX月XX日口座振替により領収させて頂きました。

お客様番号 12345-12345-X-XX

〇〇電力株式会社

〇〇電力株式会社

## 2. ガス使用量の記入方法

エネルギー使用量調査票  
「ガス」の項目へこの数値を入力

ガスご使用量等のお知らせ(請求書)

お客さま番号

ご使用設備番号 1234-01234567

住 所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇XX番XX号

お客さま名 山田 太郎 様

日頃は上下ガスをご利用いただきありがとうございます。  
ご使用量の結果をご案内申し上げます。

検針日	XX年XX月XX日	メーター取替時
① 今回検針	<input type="text"/> m	旧メーター最終検針 ( <input type="text"/> m)
② 前検針	<input type="text"/> m	旧メーター前日検針 ( <input type="text"/> m)
ご使用量 (①-②+③-④)	<input type="text"/> m	③旧メーターご使用量 m
⑤ ガス料金	<input type="text"/> 円	④通過メーター分ご使用量 m
⑥ リース料等	<input type="text"/> 円	前回ご使用量のお知らせ ご使用期間 <input type="text"/>
⑦ 消費税等	<input type="text"/> 円	ご使用量 <input type="text"/> m
⑧ ガス料金ご請求額 (⑤+⑥+⑦)	<input type="text"/> 円	印紙税申告納 付につき豊橋 税務署承認済
ガス料金、リース料等の内訳につきましては、 右側の欄をご参照ください。		印紙税作成地 愛知県豊橋市
⑨ 富士の湧水等ご請求額	<input type="text"/> 円	
今回ご請求額 (⑧+⑨)	XX,XXX 円	
次回口座振替日のお知らせ XX月XX日予定		
口座振替済のお知らせ XX年XX月XX日 <input type="text"/> 円		

上記金額を口座振替により領収させていただきました。

### 3.その他エネルギーの記入方法

[P6へ戻る](#)

- ・ガソリン・軽油・灯油・・・等、購入時の領収書があるもの

領収書記載の購入量を項目ごとに合計して入力

領収書	
2018年10月11日 15:38	伝票No. 0193
	取引通番 2319
上	様
530-13901-0000-0003 *	10445
現金	
-----	
0120-00 3243	
レギュラーガソリン P08	¥424
数量 2.62L	
単価 @162	
(内ガソリン税 @53.8)	

- ・その他の燃料等

請求書・購入時の領収書等に記載の購入量を合計して該当する項目へ記入

# 月毎の使用量を見える化

## 簡易算出表の2シート目「見える化グラフ」 ※入力例※



簡易算出表へ入力した数値が反映されます

1. 一年間のエネルギー使用量傾向を見える化

2. これを参考に削減項目の選定を行う。

例：夏季の電気購入量と冬季の灯油消費量が多いので、空調設備や暖房器具の設定を見直すor設備更新を視野に入れる……等

3. 削減項目に基づいた計画を立ててみる

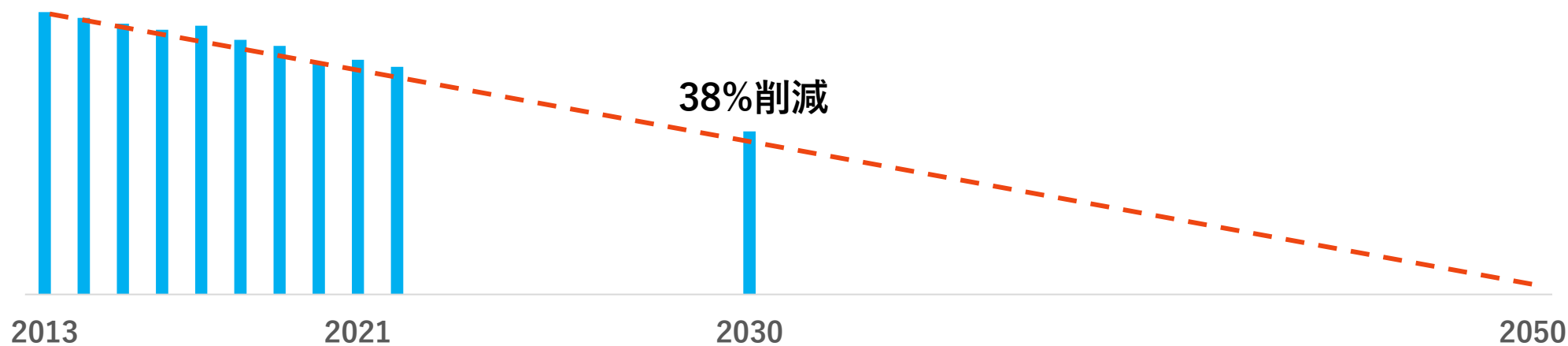
**STEP 3 : 目標設定～活動実施まで**

# 目標の立て方

[STEP3フローへ戻る](#)

※車体工業会では政府方針に足並みをそろえ、  
2030年中間目標として2013年から38%のCO<sub>2</sub>排出量削減と2050年CN達成に向け活動を行っています。  
その中で会員の皆様に対して、**省エネ活動による毎年1%の確実な排出量削減**をお願いしております。

## 日本全体のCN達成に向けた削減チャート



次ページにて**1%の確実なCO<sub>2</sub>排出量の削減**について解説いたします

[次ページ：削減目標の設定](#)

# CO<sub>2</sub>排出量を削減した活動事例

[STEP3フローへ戻る](#)

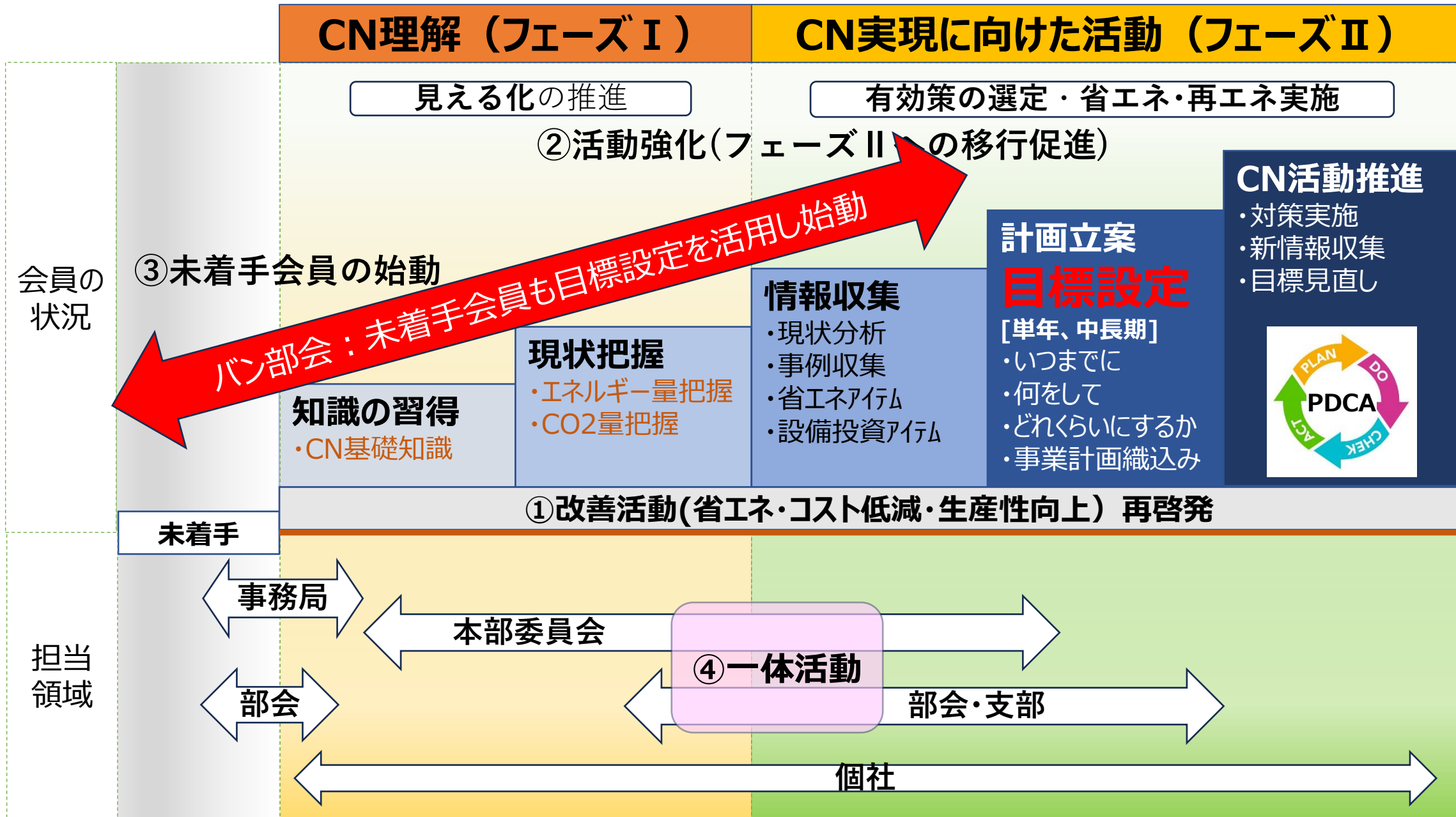


- 取組み事例集 → [儲かる すぐできる 誰でもできるCN](#)
- 照明設備 → 照明をLEDに変更した事例
- 熱源設備 → ヒータの制御・エネルギー転換・温度変更 等
- 監視設備 → 変圧器更新・スマートクロック導入 等
- 空調設備 → エアコン更新・フィルターの交換 等
- コンプレッサー  
ファン、ポンプ → エア漏れ改善・コンプレッサー更新 等
- 生産設備 → フォークリフト電動化・レーザー加工機導入 等
- 再エネ設備 → 太陽光パネルの導入
- その他 → 社有車のEV化 等

これらを活用し、活動結果の確認と現状の削減状況を把握する  
[次ページ：活動結果の反映と現状の再認識](#)



# <2024年度の車工会CN推進イメージ：バン部会の取組み>



## <2024年度のCN活動まとめ>

- ・ 24年度活動により

**フェーズ I の初期目的（CN理解）は達成**

- ・ 未着手の会員へは

**各種情報展開を継続**

## **2. 2025年度CN 事業計画【審議】**

## <2025年度活動の考え方>

- 2050年の全会員CN実現に向け、CO2排出量低減に向けた活動を加速  
⇒ 24年度活動に加え、**削減事例**や**補助金**等の**情報発信**を強化

新規の取組み	<p>①<b>活動強化</b>：CN実現に向けた活動促進</p> <p>本部委員会：<b>情報発信を強化</b> ⇒ 目標設定の支援にも繋げる</p> <p>部会：本部と連携した部会内への<b>情報展開</b>、<b>困りごとの収集・対応</b></p>
継続推進	<p>②<b>改善活動</b>（省エネ支援・コスト低減・生産性向上等）の<b>継続・深化</b></p> <p>③本部委員会と<b>部会(支部)との一体活動</b></p> <p>④LCA取組み情報の入手、展開</p> <p>⑤<b>部会の特徴</b>を踏まえた<b>実効性ある取組み</b></p>

以上